

公共関与型産業廃棄物最終処分場建設工事に係る 地区説明会開催結果のお知らせ

八幡平市平館における標記施設の工事につきましては、平素より特段のご理解、ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。令和5年4月9日、椴沢地区と時森地区の2か所において、建設工事の進捗などに関する説明会を開催しましたので、その結果についてご報告します。

【当事業団からの主な説明事項】

1 事業の概要

| | |
|-------|--|
| 事業の名称 | 公共関与型産業廃棄物最終処分場整備事業 |
| 建設予定地 | 八幡平市平館第2地割地内 |
| 事業の種類 | 産業廃棄物管理型最終処分場及び一般廃棄物最終処分場の設置・運営 |
| 埋立期数 | 3期（1期15年、3期合計45年） |
| 埋立面積 | 約13.0ha |
| 総埋立容量 | 約183万m ³ （1期当たり約61万m ³ ） |
| 工事期間 | 令和3年5月～令和6年度（予定） |

2 八幡平市との運営協定の概要

| 項目 | 内容 |
|---------------|------------------------|
| 排水基準値への適合検査 | 定期的に放流水、地下水（場内外）を水質測定 |
| 騒音、振動、悪臭などの測定 | 必要に応じて、処分場敷地境界で測定 |
| 空間放射線量の測定 | 定期的に測定 |
| 放射性物質濃度測定 | 月1回、放流水・地下水を測定 |
| 搬入事業者 | 搬入ルートや交通法規の順守を徹底 |
| 搬入時間 | 原則、毎週月～金曜日の午前9時～午後4時まで |
| 周辺環境の美化 | 周辺道路の定期的な清掃活動を実施 |

お問い合わせ先

【発注者】

一般財団法人 クリーンいわて事業団八幡平駐在（TEL：0195-78-8872）

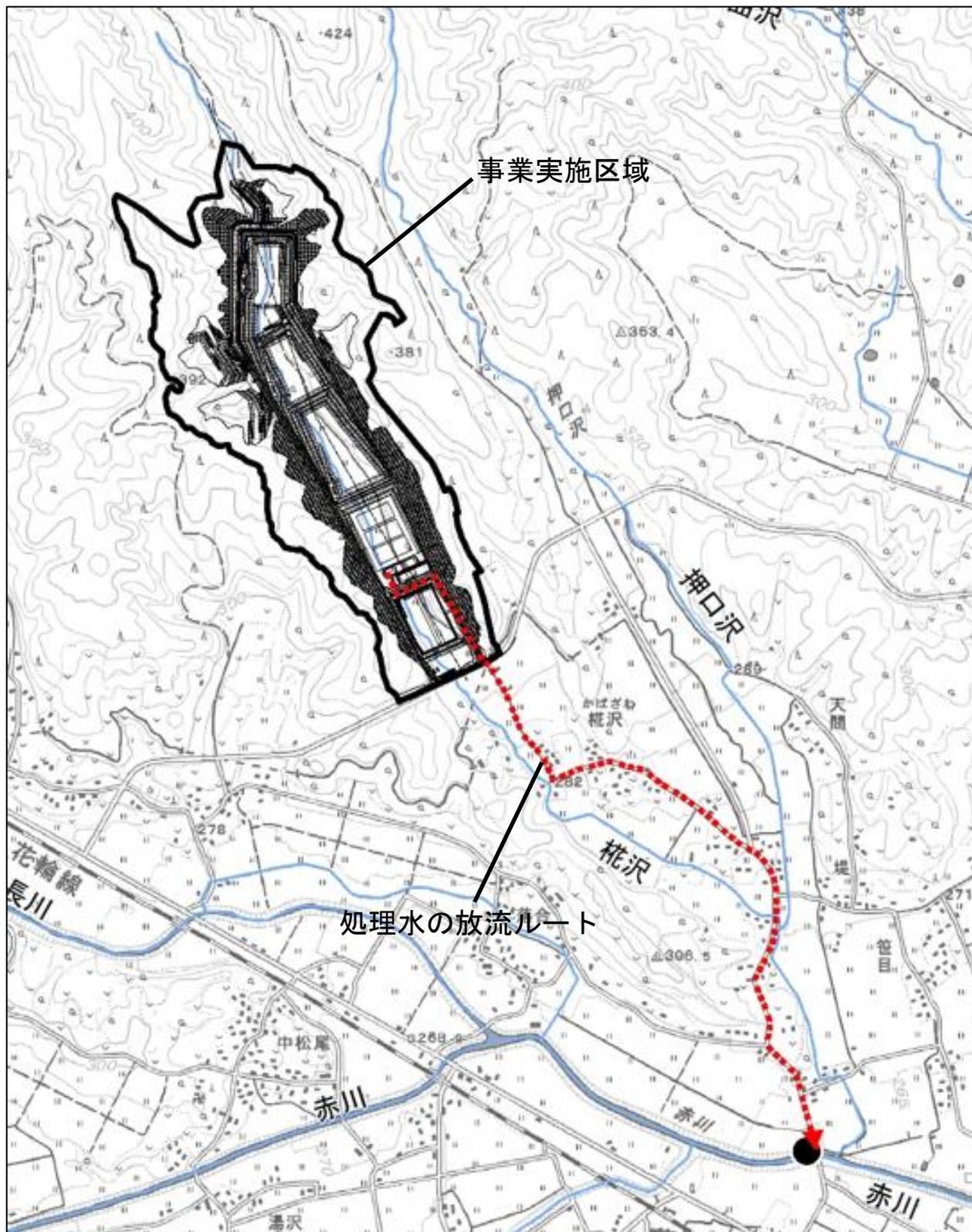
【受注者】

大成建設(株)・(株)平野組・大森工業(株)特定共同企業体

公共関与型最終処分場土木施設建設工事作業所（TEL：0195-78-8212）

3 放流水の放流ルート

【事業区域と処理水放流ルート】



- ・事業実施区域内から赤川までの約 2.5 km の区間（道路下）に処理水放流管を敷設します。
- ・この工事は、道路 1 区画 50m 程度での作業となり、その際、片側交互通行となります。
- ・お近くを通行する際には、ご不便をお掛けする場合がございますが、ご理解のほど、よろしくお願いたします。

4 地区住民の皆さまからのご質問と回答の概要

1 押口沢のため池については、いつ説明するのか。

(回答) ご質問の押口沢のため池については、令和5年度に八幡平市(ため池管理者)が実施設計を行った後、工事を行う予定となっています。この実施設計において工事の詳細が決まり次第、住民の皆さまにもご説明いたします。

2 いつから廃棄物の受入れを開始する予定か。

(回答) 工事完了後、所要の手続きを経た後に受入れを開始する予定です。(時期未定)

3 以前の説明では、確定したスケジュールとして聞いていたが、どうなっているか。

(回答) 前回の説明会(平成29年)では、令和3年に工事が完了するスケジュールを想定していましたが、その後、国有林などの土地の取得手続き、廃棄物処理法の諸手続きなどに時間を要したため、スケジュールが遅れることとなりました。

4 今回の説明では、令和6年度中に工事が終了するという事なので、供用開始時期は令和7年度初め頃になるか。

(回答) 現時点では、おおむねそのようなスケジュールです。

5 工期や供用開始時期が遅れる場合には、地区住民に対して説明して欲しい。

(回答) 今後は工期や供用開始時期等のスケジュールに変更が生じた場合には、その都度、地区住民の皆さまにご説明させていただきます。

また、説明会のほか、概ね3か月ごとに地区の皆様へ配布している広報資料でも工事の進捗状況をお知らせしていますので、そちらもご覧ください。

6 異常気象で大雨が降った場合、処理水が処理し切れずにあふれることはないのか。

処理水の放流管(管径15センチ)は、昨今のゲリラ豪雨なども想定した設計であるか。

(回答) 整備中の最終処分場では、場内に降った雨水は、「埋立地内で廃棄物に接した雨水」と、それ以外の「処分場の周囲に降った雨水」に分けられて、別々の系統で集排水されます。

まず、「処分場の周囲に降った雨水」は処分場の埋立地内には入らず、場内の大きな防災調整池(およそ幅100m、長さ160m、深さ5m、容量54,000 m^3)に集められて、流量を調整して権沢に放流します。

「埋立地内で廃棄物に接した雨水」は、その水だけが集められて水処理施設で浄化し、専用の放流管(現在、敷設工事を実施)を通じて直接赤川に放流されます。

大雨が降った場合でも、「埋立地内で廃棄物に接した雨水」を十分に貯留できる調整槽を通じて処理・放流する設計としていますので、豪雨時でも処理水が処理し切れずにあふれることはありません。

7 昨今の気候変動に伴い、これから事業用地においても西日本のような豪雨が降ることも想定されると思うが、どこまで対策を講じているのか。

(回答) 防災調整池の設計は前記6のとおりです。

この防災調整地の容量は、最寄りの観測気象台で、これまでに観測された最も強い降雨量や、平成28年に岩泉町で発生した台風10号による豪雨災害級の雨量でも十分耐えられる設計にしています。

8 工事終了後、廃棄物の埋立てを開始する前に、地区住民に対して埋立地を見学する機会を設けてもらえるか。

(回答) 現在、場内は工事に伴い多くの大型重機が稼働しています。

地区の皆様からのご要望があれば、工事関係者と調整して、地区住民の皆さんにご覧いただくことは可能です。見学は竣工後も可能です。

9 廃棄物運搬車両が栴沢地区を通ることはないのか。

(回答) 廃棄物運搬車両の通行に際しては、当事業団が指定するルート(国道から時森地区を通るルート)での搬入を徹底し、栴沢地区の生活道路などは通行しません。

10 処理水の放流管を敷設する工事の掘削箇所が、一部田んぼの水路に面した崩れやすい場所となっている。

(回答) 現地確認の結果、ご指摘があった場所を掘削した場合、道路の「のり面」が崩れるおそれがあるため、施工場所を変更することとします。

11 処分場下流側の市道脇の住宅が空き家となっており、昨年は立木が倒れて通行の支障となった。適切に管理を実施して欲しい。

(回答) 市道や空き家の安全管理などについては、八幡平市役所にお問い合わせください。

(担当：市道 建設課、空き家管理 防災安全課)

ご意見、ご質問などは、いつでも受け付けていますので、1ページに記載の「お問い合わせ先」まで、ご連絡ください。

今後も最終処分場工事について、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。